

## 石狩市海浜植物等保護条例

石狩川河口の良好な自然環境を保全するために、大きな役割を担ってきた「石狩市石狩川河口海浜植物等保護条例」が、市域の海岸約74kmを対象範囲とする「石狩市海浜植物等保護条例」として、平成24年3月1日より運用されます。

これに伴い、新たに「**しゅぶ地区**」を海浜植物等保護地区に指定し、地区内への車の乗り入れや植物の採取等、自然生態系に影響を及ぼす行為から守っていきます。

### しゅぶ地区

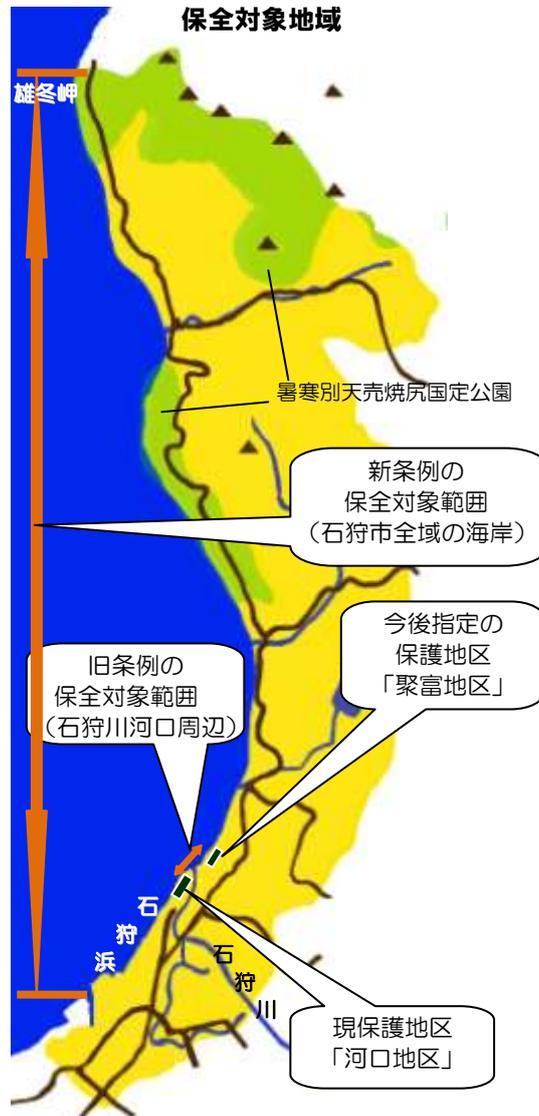
厚田区聚富に位置する北石狩衛生センター北側の約8haの市有地は、海浜植物群落や野鳥の生息地として、生物多様性に富んだすぐれた自然環境を有するとともに、ハマナスやエゾスカシユリなど色鮮やかな花が彩る原生花園の景観を呈し、旧厚田村当時より、木柵を設置して車の乗り入れ防止が図られてきた地区です。

通称「シップ原生花園」と呼ばれ、5月にはヒメイズイ、ハマハタザオ、ハマエンドウ、6月にはハマナス、エゾスカシユリ、エゾチドリ、7月にはエゾカワラマツバ、エゾカワラナデシコ、9月にはコガネギク、ヒロハクサフジなど、彩り豊かな花々が季節を通じて咲き競います。

ノビタキ、ホオアカなど、草原性の野鳥も数多く営巣、子育てし、ノウサギ、キタキツネなど野生動物の生息の場にもなっています。

今後は、石狩市海浜植物等保護条例が定める海浜植物等保護地区の「**しゅぶ地区**」として、看板の設置、監視員の配置、散策用誘導路の設定などを行い、保全を図っていきます。

## 石狩市海浜植物等保護条例の 保全対象地域



## イベント・活動情報

3/3 (土) 海辺の自然塾第7回 10:30~12:00  
「石狩浜の野鳥～生態と長期観察からわかること～」  
講師：石狩鳥類研究会 樋口孝城氏  
会場：石狩市民図書館視聴覚室  
定員：20名 (先着順) 参加費：100円  
申込：3/1 (木) まで当センターへ (0133(72)3240)

## トピック

(2・3 ページ)

しゅぶ地区 成り立ちと植生の変遷

石狩浜学習の成果

石狩砂丘のノスミ類と地表性昆虫の生息状況

**聚富地区 成り立ちと植生の変遷**

過去の国土地理院発行の地形図に「聚富地区」の位置を重ねて見ると、明治29年頃は、海岸線に面した場所に位置していました（図1）。植生は、砂浜からハマニンニクやコウボウムギ、ハマボウフウなど不安定な砂地に適応した植物が生えていたと推測されます（図2）（現在は聚富地区よりさらに海側にこの植生広がっています）。

昭和22年頃は海岸線は明治29年頃比べて100m程度前進し、聚富地区は、砂丘が次第に安定化し始めた時期と言えます。植生は、やや安定した砂地を好むハマハタザオ、ハマエンドウ、ハマナスなどが生育範囲を広げていったと推測できます。

昭和30年代にかけてさらに100m、40年代はさらに300m程度海岸線は前進し、聚富地区は海から離れ、これに伴い、さらに安定した砂丘環境へと変化していったと考えられます。昭和43年以降の地形図からは、海岸線の顕著な前進や後退は見られません（ここでは昭和63年の地形図を掲載しました）（図4）。安定した砂丘では、砂から土へと土壌環境も変化し、水分や栄養分も豊富になります。そこには、ハマナスに加え、エソスカシユリ、エソカワラナデシコなど、草原性の植物が数多く生育するようになり、色鮮やかな花を咲かせる種も多く生育し（図5）、愛好家の間で「シップ原生花園」と呼ばれるようになりました。昭和40年代以降は、安定した砂丘環境が続くとともに、聚富地区の海側に植林が始まり、海からの風や飛砂は一層遮られる環境に置かれ、近年では、内陸のより安定した草原環境を好むスキも増加してきています。

今後は、砂丘草原の生態系保全の視点から、植生のモニタリングや希少種の把握等に取り組めます。

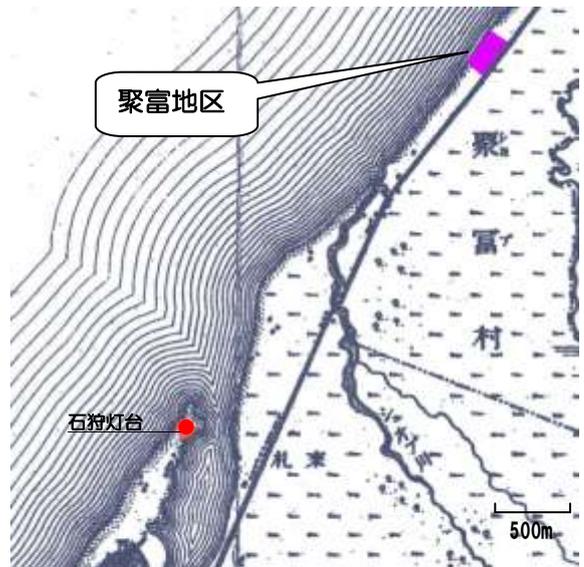


図1 明治29年発行国土地理院地形図に重ねた聚富地区

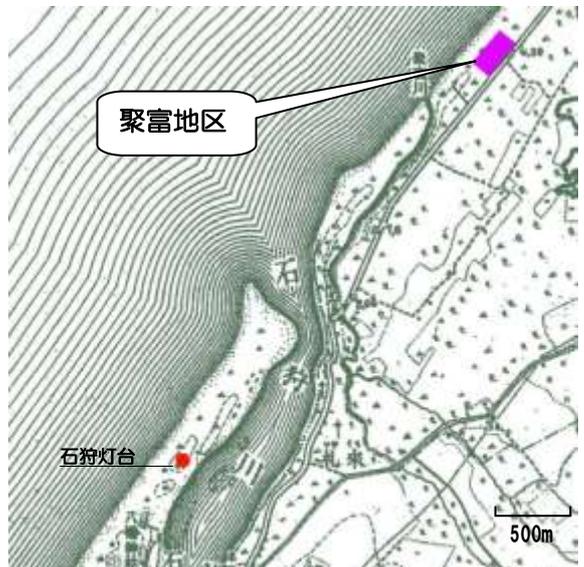


図3 昭和22年発行国土地理院地形図に重ねた聚富地区

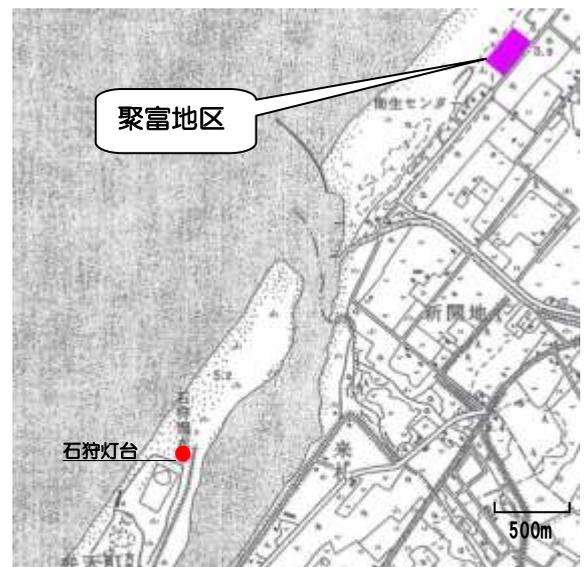


図4 昭和63年発行国土地理院地形図に重ねた聚富地区



図2 想像される明治の頃の聚富地区の植生



← 図5 現在の植生（6月）

石狩浜学習の成果

石狩中学校では、地域の貴重な財産である石狩浜の自然環境について理解を深め、その保全に取り組んでいくために、センターを利用して、自然観察や保全の実践などの学習プログラムに取り組んでいます。

自然観察では、代表的な海浜植物や砂丘の成り立ち、野鳥などの生き物の観察を通して、生態系や生物多様性について学びます。保全活動では、マナーのないレジャー利用によってもたらされる自然環境へのダメージについて学びほか、外来植物の除去や海浜植物の播種に取り組めます。また、全校挙げての海岸清掃にも取り組んでいます。

学習の成果として、印象に残った内容をレポートにまとめました。レポートの感想欄には、「これまであたりまえに身近にあった自然が“とても貴重な”ということに改めて知ることができた。」という驚きが多く書かれていました。さらに、「自分たちが今できることは何かを考え、自然を大

切にしていきたい。」という積極的な意見もありました。この石狩浜学習を通して、生徒一人ひとりが『わたしたちの町の自然を大切に守っていこう！』と未来の担い手になっていくことを期待します。

今年は、花川小4年生、双葉小3年生の取り組みもありました。今後も、センターでは、石狩市の財産である石狩浜の自然と保全について、子どもたちが学ぶ機会を提供していきます。



生徒作成のレポート表紙

石狩砂丘のノネズミ類と地表性昆虫の生息状況

前号でも紹介しましたが、7月31日開催「海辺の草原生き物調査隊」で調べた石狩砂丘のノネズミ類と地表性昆虫の生息状況について報告します。

【方法】 石狩砂丘の海からの距離に応じた植生帯ごとに(図1)、前日にしかけた<sup>ほかくわな</sup>捕獲罠を参加者で回収しました。ノネズミにはシャーマントラップと呼ばれる生け捕り型の罠、地表性昆虫には、ピットホールトラップと呼ばれるコップを地表に埋め込む形の罠をしかけました。地表性昆虫は、参加者が植生帯別、種類ごとに選別する作業に取り組み、集計しました(次ページ写真)。

【結果・考察】 ノネズミ類については、表1、地表性昆虫については、表2のとおりでした。海岸林では、良

好な森林環境の指標でもあるオオルリオサムシが確認されました。また、冬のエサをドングリに頼るため、ミズナラやカシワから成るまとまった面積の林が生息に必要なアカネズミが確認されました。これらの結果は、石狩海岸林の自然生態系の質の高さを示していると考えられます。海岸草原では、草原性のエソヤチネズミ、海浜特有のスナゴミムシダマシ、表には掲載していませんが、イソコモリグモなども確認され、海岸草原特有の生態系が維持されていることが示唆されました。

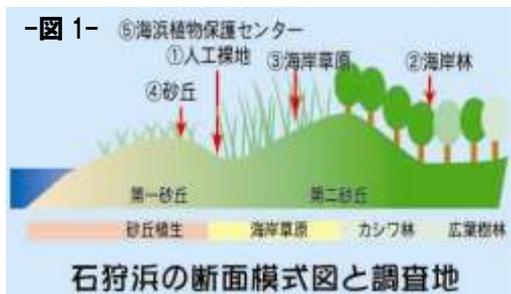


表1-1 しかけたワナの数と捕獲された野ネズミの数

場所	トラップ数	アカネズミ	エソヤチネズミ	エトガリネズミ
①人工裸地	7	0	0	0
②海岸林	20	1	1	1
③海岸草原	15	0	2	0
④砂丘	10	0	0	0
⑤海浜保護センター	7	0	0(※2)	0

※前日・前々日に捕獲

表2- 採集された地表性甲虫

種名	1 人工裸地	2 海岸林	3 海岸草原	4 砂丘	5 海浜センター
オサムシの仲間	0	100	0	0	0
オオルリオサムシ		3			
イシカリクロナガオサムシ		97			
ゴミムシの仲間	6	3	0	0	0
コクロツヤヒラタゴミムシ	0	2			
クロツヤヒラタゴミムシ	0	1			
アオゴミムシ	6	0			
キンナゴミムシ	5	0			
シテムシの仲間	71	71	5	0	0
ヒラタシテムシ	70	70	5		
ヨツボシモンシテムシ	1	1	0		
センチコガネの仲間	0	7	0	0	0
センチコガネ		7			
ゴミムシダマシの仲間	1	1	22	3	13
スナゴミムシダマシ	1	1	22	3	13
クワガタムシの仲間	0	1	0	0	0
スジクワガタ		1			



植生帯別、種ごとに選別された地表性昆虫  
 手間から1・2列目：海岸林（図1-②）  
 3列目：海岸草原（図1-③）  
 4列目：砂丘（図1-④）  
 5列目：人工裸地（図1-①）

**2011年8～11月の活動報告**

7/23-8/7の土日 夏のミニ自然教室 <参加者 138名>

8/4（木）自然教室「海辺の草木で草木染めに挑戦！」  
 <参加者 7名>

8/27（土）自然教室「ハマナスのジャム作り&クラフト教室」  
 <参加者 11名>

9/10（土）石狩浜渡り鳥と秋の草花観察会 <参加者 10名>

10/1（土）自然教室「砂で遊ぼう砂を学ぼう～砂時計と砂絵作りに挑戦～」  
 <参加者 9名>

10/30（日）科学の祭典 in 石狩「砂と植物の不思議な関係」  
 ブース出展 <全体来場者約 1,500名>

★企画・指導・サポートにあたられた石狩浜自然案内人、ふるさと自然塾のみなさま、ありがとうございました。

11/3（祝）「ウミベオロジー/石狩海辺学」紀伊國屋書店札幌本店でのパネルトーク。石狩浜の海浜植物について、紹介、話題提供。<参加者約 80名>

11/19（土）「石狩大学博物学部/石狩動植物学」石狩市民図書館で、石狩浜のハマナスは減っているか？をテーマに過去の地図や最近の調査結果を元に講演。<参加者約 20名>

**2011年度センター来館者数**

8,899人（これまでの来館者数 95,203人）

**2011年誕生のセンターマスコット**



**お知らせ・参加者募集**

**エコ育広場 2012**

海浜植物や貝がらなど海辺の素材を使ったクラフト教室のブースを出展します。

日時：平成 24 年 2 月 11 日（土）10:30～17:00

会場：札幌市エルプラザ 2F（札幌市北区北 8 西 3）

**いしかり海辺ファンクラブ**

石狩浜の自然を愛する市民の方々が、石狩海岸に残されたすばらしい自然環境の魅力発信と、これを次世代に残すことを目指し、2011年11月26日設立しました。今後は、石狩海岸を利用する多くの人へ向けて、自然の魅力と自然に配慮した利用を呼び掛ける「石狩海岸利用者心得（仮称）」の作成配布や、石狩海岸フットパスマップづくりなどに取り組む予定です。4月には総会開催予定。

ブログ [いしかり海辺ファンクラブ](#) で検索できます！

**♪ 会員募集 ♪**

お気軽にお問い合わせください  
 （会費：正会員 1200 円/年 賛助会員 一口 500 円）

事務局：tel.0133-74-1068（石井さん）

**●●●石狩浜定期観察の会●●●  
 写真展示**

石狩浜の四季折々の花や生き物の写真を展示します。

期間：3/27（火）～4/8（日）

会場：石狩市民図書館エントランスホール

ここでも展示中（1～4月まで）

◆石狩市民図書館エントランスホール内閲覧室入口右側◆

◆石狩市役所 1F◆

お越しの際にはぜひご覧ください！

観察活動は4～10月の第1, 3, 5水曜。

次年度は4月下旬スタート予定。

**メンバー募集中**

問合せ：tel.0133-74-6198（安田さん）

問合せ・申込み

4/29～11/3:石狩浜海浜植物保護センター

〒061-3372 石狩市弁天町 48-1

tel.0133(60)6107（火曜休館・休館日は以下へ）

11/4～4/28:石狩市役所市民生活部環境室内

〒061-329 石狩市花川北 6 条 1 丁目 30-2

tel.0133(72)3240

email. [ihama@city.ishikari.hokkaido.jp](mailto:ihama@city.ishikari.hokkaido.jp)